



第25代専如ご門主 ご消息ご親読 (本願寺山陰教堂本堂にて)

山陰

編集 御同朋の社会をめざす運動
山陰教区委員会

発行 山陰教区教務所

〒690-0001 松江市大正町四四三ノ一
本願寺山陰教堂

TEL 〇八五二 21 四七四七
FAX 〇八五二 27 八三五一

発行者 中尾了信

浄土真宗本願寺派 第二十五代専如門主 山陰教区ご巡回、並びに 本願寺山陰教堂ご巡拝

昨年の六月、専如ご門主が法

統を継承されたのを受け、本年の十月から来年の七月にかけて、全国の教区をご巡回、直轄寺院(築地本願寺)・直属寺院(別院・教堂)をご巡拝されることとなりました。

記念式典では「伝灯奉告法要 について」の消息」ご親読の後、中尾了信山陰教堂主管が御消息を拝受しました。

山陰教区、並びに本願寺山陰教堂は二〇一五(平成二十七)年十月二十九日(木)にご巡回・ご巡拝が行われ、教区内の僧侶・寺族・門信徒、約一〇〇名のご参加をいただきました。

専如ご門主は二〇一三(平成二十三年)に山陰教堂の教化センターが完成して以来、ご門主として初めてのご巡拝・ご巡回となりました。ご参加の方々より、「伝灯奉告法要を控え、尊いご縁をいただきました。」とのお声を多数頂戴しました。

午後一時からの記念式典に先立ち、教堂の会議室にて懇談会が開かれました。山陰教区の各ブロックから選ばれたご門主世代の皆さまが、自分たちの抱える寺院活動の課題などについてご門主と意見交換を行い、交流を深める機会となりました。

仏壮ブロック研修会

平成二十七年七月十二日(日)に大田市の県立男女参画共同センターあすてらすを会場に山陰教区仏教壮年会連盟石見ブロック研修会が行われました。

ご講師は、大谷大学客員教授の泉惠機師で、「親鸞聖人の教えを受け継ぐということ」というテーマで講義をしていただきました。

三〇名の参加があり、参加者みな真剣な表情で聴講しておられました。

続いて平成二十七年九月六日(日)に鳥取因幡組の隆建寺様にて、鳥取ブロック研修会が行われました。参加者は四七名でした。

ご講師は、鳥取因幡組光輪寺ご住職の佐々木智浩師で、テーマは「何を聞きにお寺へ参るのか」でした。分散会では、自分がお寺に参るようになったきっかけや、仏壮活動を通してお寺のイメージが変わったなどという意見が見られ、真剣な話の中に時折笑い声が聞こえるなど、とても雰囲気の良い研修会でした。



出雲ブロック研修会は、平成二十七年十月十八日(日)出雲市斐川町の今在家農業公園(農業ホール)で開催されました。

ご講師は、本願寺派布教使の佐々木俊教師で、テーマを「実践運動と仏壮活動」とし、講義をしていただきました。参加者は六〇名でした。講義の後、出雲組宗玄寺ご住職の藤森観海先生を座長として全体会が行われました。

参加者からの親鸞聖人の生涯や、伝灯奉告法要など様々な質問に対して、ご講師先生、教務所長からの説明が行われました。

寺族婦人研修会 研修会初参加

大田中組 安養寺 寺本真美

この度、初めて松江の本願寺山陰教室に行かせていただきました。「どんな所かな」というワクワク感と「難しいそうなお題だな、ちゃんと話し合いができるかな」という不安感や緊張感が私の中で入り混じっていました。

今回の研修は、「過去帳開示問題に学ぶ」という講題でした。長屋善洋先生がとてもわかりやすくお話しくださいました。いろいろなお話の中で、「お寺は大切なご門徒さんの個人情報をお預かっており、守っていく立場である」「誰であろうと過去帳を見せてはいけない」ということが印象的でした。



午後からは、十人ずつの六班に分かれ、班別に話し合いをしました。私の班では、「イケメンの俳優さんが来て、過去帳を見せてほしいと言われたら、舞い上がって見せてしまうかもしれない」という正直な声もありました。また、ある方からは、「電話での問い合わせには、すぐに返事をするのではなく、『今、住職が不在です』と一旦おくといいよ」というアドバイスも頂戴しました。

話し合いの後半は、フリートークで、お布施のことなど、坊守さんならではの話しが聞け、とても楽しく、有意義な時間でした。

東は鳥取因幡、西は鹿足の坊守さんたちが一堂に会し、一緒に真宗宗歌を歌ったり、お勤めをしたり、お話を聞いたりできたこと、このご縁に心より感謝申し上げます。

合掌

同朋社会研修会

同朋社会
部会主催に
よる同朋社
会研修会
が七月九日
(木) 出雲市
民会館三階
三〇一会議
室にて開催
されました。
ご講師は東
北教区相馬
組勝縁寺ご
住職の湯澤
義秀師。「東
日本大震災の現状と課題」という講
題でご自身が被災された体験と震
災のその後の復興に向けての厳し
い状況についてお話いただきました。
参加者は一〇一名でした。



なお、この度は研修会後に東日本
大震災の支援金を募り総額五二、七
三八円が集まりました。この支援金
は宗派社会部に開設されておりま
す。東日本大震災支援金窓口へ送金
いたしましたことも併せてご報告
いたします。

平成27年度

山陰教区門徒推進員連絡協議会

総会・研修会開催

鳥取因幡組 願正寺 池原 宏

平成二十七年年度山陰教区門徒推
進員連絡協議会の総会、研修会が、
七月二十五日日本願正寺山陰教堂教化
センターにおいて、七十六名の門徒
推進員の方が出席され開催されま
した。総会では、教務所長、会長の挨拶に続き、平成二十六年年度事業並びに決算、引き続き二十七年年度事業計

口減少、門信徒の意識の変化(寺は
なれ、宗教はなれ) お寺の責任等の
問題点が話され、この様な問題点に
対して今後どの様に取り組むべき
か、様々な事例をまじえて話されま
した。私たちは、お寺は住職、門信
徒皆のもので有り、皆で守るべきも
のであると言う意識をもって、今後
より積極的に、お寺の行事、事業等
へ出かけていきたいと思わせてい
ただきました。

実践運動山陰教区委員会

組長・各組選出者協議会

二〇一五(平成二十七年)年八月六
日(木)午前十一時より本願寺山陰
教堂教化センターにおいて、実践運
動山陰教区委員会組長・各組選出
者協議会を開催しました。
組長、各組選出実践運動委員の皆
さまにご出席いただきました。

また、今後の教区における「子ど
も・若者ご縁づくり」の推進につい
て、西原真公キッズサンガアドバイ
ザー・山陰教区キッズサンガ担当者
会担当長より説明がありました。

組長、委員の皆さまは、今年度が
四年任期の最後の年度となります。
これまでの活動の総括、そして今後
の実践運動推進に向けて熱心な協
議をいただきました。

千鳥ヶ淵法要教区団体参拝

大田東組 立善寺 菅本了道

九月十七日雨の中、築地本願寺に集った山陰教務所主催による標記の参拝旅行の一行二十二名。御本尊にお礼の後、近くの寿司店にて発足式。自己紹介・昼食を済ませ麻布山善福寺に参詣。十二間四面の壮大な本堂。金箔に彩色を施した格天井。葬儀会館を備え、マンションのような建物は、一階は事務所、階上は寺族の住居。つまり庫裡とか。何もかも別世界。

次にスカイツリーへ。雲霧の中、ほとんど視界の利かない東京の情景だった。

翌十八日午前中は、安保法制審議の最中の国会議事堂(衆議院)を見学。不思議な程平穏であった。

そしていよいよこの度の目的である第三十五回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要に参拝。二千五百人の人とともに国籍や思想・信条を越えて全ての戦争犠牲者を追悼し、非戦・平和の誓いを新たにす機縁を得ることができた。

ご門主の御導師のもと厳肅に法要は始まった。表白の中で「…宗門の歴史を深く省みて、同じ過ちを二度と繰り返さぬよう非戦・平和への道を歩み続けてまいります」と決意を語られた。法要に先だち石上智康総

長が「平和宣言」を読み上げ、宗門校の中高二名が「非戦・平和」「いのち」をテーマにした感動的な作文の朗読があった。

思わず感涙してしまった。本願寺新報十月十日号に全文が掲載されているので、是非とも読んでほしい。

この法要は昭和五十六年に始まり、毎年九月十八日(満州事変の発端となった柳条湖事件の起きた日(昭和六年))に営んでいる。山陰教区の皆様も、是非一度は参拝していただきたいと思う。

この度の参拝旅行を計画・実施くださった教務所にもお礼申し上げます。



得度習礼講習会

僧侶となる心構えと基本的な知識や、技能の習得をはかることを目的とし、得度習礼の前に「得度習礼講習会」を受講することが昨年度より義務化されました。併せて、各教区でも開催されることとなり、今年度、山陰教区は九月十二日(土)と十三日(日)の二日間開催しました。六人の受講者は、僧侶の心得を教務所長より学び、声明・基本作法、莊嚴、被着法などについて、山陰教区の勤式指導員・勤式担当者から指導を受けました。

二日間の講習会終了後、教務所長より講習会修了証が受講者に手渡され、それぞれが得度習礼に向けて気持ちを新たにしました。



伝統ある京佛具を後世に伝えたい

浄土真宗本願寺派仏具専門店
寺院用 在家用 仏壇 仏具 記念品

株式会社 **古田た佛具製作所**

〒600-8227 京都市下京区七条堀川上ル菱屋町(西本願寺前)
TEL(075)343-2341 FAX(075)343-0836
フリーダイヤル 0120-178-413
フリーファックス 0120-343-036

御本山 **近** 用達

株式会社 **川勝法衣店**

フリーダイヤル 0120-075-055
(600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入

電話 (075) 371-0367 (代)
FAX (075) 371-5088

仏教婦人会連盟 実践運動研修会のご報告

九月二十九日(火) 出雲市民会館三階三〇一会議室にて、教区仏教婦人「御同朋の社会をめざす運動(実践運動)研修会」が開催されました。本年度は、仏教婦人会総連盟講師の中川清昭先生をご講師としてお迎えし、午前中は「十二のひかり放ちては」というテーマで、私たちの周りにあるさまざまな差別(区別)の問題についてご講話と問題提起をいただきました。

そして午後からの班別話し合いでは五つの班に分かれて、念仏者として何をどのように実践して行くかということそれぞれに話し合っていました。いただきました。参加人数は一〇名でした。



特別法務員・法務員資格試験合格者連絡協議会 ／山陰教区勤式研修会

二〇一五(平成二十七)年九月三日(木)、本願寺山陰教堂教化センターにおいて、特別法務員・法務員資格試験に合格された方を対象とした連絡協議会を開催しました。

山陰教区勤式指導員の山崎崇峰先生より、本山で行われた勤式指導員研修会についての報告の後、勤式の現況等について情報交換が行われました。

午後からは、勤式研修会を開催。教区内の全僧侶を対象とした研修会としては三回目の開催となります。ご講師に今小路覚真先生をお招きし、「浄土真宗における葬儀」と題し講義をいただきました。

今小路先生は、本願寺派式務部に勤務され二〇〇〇年から二〇一二

「平成二十七年年度」 連研のための研究会」

九月十一日、教化センターにて「連研のための研究会」が開催されました。講師は季平博昭師、参加人数は

年まで会行事を務められました。お寺での取り組みや葬儀についての考え方など、懇切丁寧なお話をいただきました。



山陰教区寺族野球部からの報告

今年も「平成二十七年年度・中四国寺族軟式野球大会」(広島開催)、「第三九回・全国寺族青年軟式野球大会」(京都開催)に参加しました。中四国大会は備後Bチームに快勝しましたが、二回戦で安芸Aチームと対戦し一対三で敗退、全国大会は一回戦で大阪教区と対戦し四対五で逆転負けという成績におわりました。



教区野球部の平均年齢があがってきました。毎年、二月～九月まで月に二回程度の練習を積み重ねています。若い寺族青年の入部を待ちたいです。経験のない方も体を動かしたい方も一緒に汗を流しましょう！お問合せは教務所まで。

三三名でした。新しい連研ノートDが出てから二年目、昨年に引き続き「問いの狙い」について研修しました。一二の問いは(起)(承)(転)(結)と構成されており、一つひとつの問いの内容を理解し、連研の場で活用していただけるよう今年(承)をテーマとしました。アンケートに

よりまずと今年度連研開催組は十一組、各組の参加人数を合計すると約三〇〇名という現況です。組によって連研の取り組みはそれぞれですが、新教材連研ノート、「連研のための研究会」をとおしながら寺院の活性化の一端となるよう取り組みたいものです。

教区会議員・組長合同本山参拝研修

出雲組 宗玄寺 藤 森 観 海

九月三十日(水)から十月一日(木)の日程で開催、参加者は二十五名でした。本願寺に参拝、記念撮影後、聞法会館に於いて、宗門総合振興計画について中尾史峰統合企画室長より、また宇野哲哉重点プロジェクト推進室部長より実践運動についてそれぞれ研修を受けました。

今後さまざまな機会にそれらのことが話題にのぼることになると思っています。宗門の現状と課題をしっかりと把握し、この長期計画への積極的な協力とかかわりが、私達一人ひとりに課せられているとの思いを深く致しました。

中尾室長からは伝灯奉告法要並びに親鸞聖人ご誕生八五〇年、立教開宗八〇〇年慶讃法要の修行と記念行事の推進について、基本方針や収支計画の概要を詳細に説明頂きました。

宇野部長からは「戦後七十年非戦・平和の観点から運動推進を考える」とのサブテーマに添い、「宗法」、「宗制」の改正、それに伴う一連の機構改革がなせ成されたか、また『浄土真宗の教章(私の歩む道)』制定のねら

い、「基幹運動」から「実践運動」への移行についても、ポイントを押さえたレジュメを用意して頂き、研修を深めることが出来ました。

前門様「退任に際しての消息」専如ご門主「法統継承に際しての消息」並びに「伝灯奉告法要についての消息」といったご消息を受けとめ、新たに歩みを進める覚悟を持ちました。七月三日発布された専如ご門主「戦後七十年に寄せる平和への願い」、八月十日付けの「非戦・平和を願う総長談話」九月十八日「第三十五回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要平和宣言」に示される平和への願いを語り合うことの大切さも改めて実感しました。限られた時間でしたが、密度の濃い研修会でした。

浄土真宗本願寺派 山陰教区更生保護事業協会支部設立

大田西組 願楽寺 藤 谷 崇 文

この度、教区内の七十三名の保護司の方のご賛同を得て、浄土真宗本願寺派山陰教区更生保護事業協会支部が設立されました。

この会の目的は、本部の活動に協力し、宗祖親鸞聖人のみ教えのもと、御同朋御同行の精神に徹し、更生保護に関する事業の充実発展に寄与す

ることです。それは、「人々に阿弥陀如来の智慧と慈悲を伝え、それによって、自他ともに心豊かに生きることでできる社会の実現に貢献する」ことにもなります。

去る十月六日、山陰教堂教化センターにおいて、設立総会が開催され、規約案、予算案、事業計画案が審議、

承認され、役員が選出されました。(後掲)

午後は研修会で、松江保護観察所 法務省企画調整課課長・西江尚人先生が、「更生保護の課題と方向性」と題しての講義、本山社会部(社会事業担当)部長・本派更生保護事業協会事務局長の楠秀峰先生の「宗派の現状と中・長期計画について」の講義を頂き、有意義に研修を終ることが出来ました。

支部は設立されたばかりですが皆様方の御指導、御助言を頂きながら、会員一同、親鸞聖人のみ教えに従い、



御同朋の社会、明るい社会をめざすべく、努めていく所存でありますので、何とぞよろしくお願い申し上げます。

役員名表

- 支部長 中尾了信(教務所長)
- 副支部長 藤谷崇文(大田西組)
- 理事 千石眞知子(鳥取伯耆組)
- 勝島徹正(神門組)
- 津村信隆(大田中組)
- 寺本堯憲(邑智西組)
- 高橋隆興(三隅組)
- 圓山達雄(川本組)
- 富岡芳史(鹿足組)

第四連区 青年布教使研修会に参加させて頂いて
 (十月二十日～二十一日)

出雲組 龍善寺 柳 樂 由 乗

やってみなければ、気づかないことばかりですね。この度、第四連区(山陰・四州・備後・安芸・山口)青年布教使研修会に参加、並びに出講させて頂きました。

初日は各会所での実演。私は小郡の信光寺さままで一〇〇名を越える参詣者に圧倒されつつ、お取り次ぎをさせて頂きました。法話が終わって約三〇分間、問題点や工夫の余地をみんなで話し合いました。問題点を話し合うことは、講評するほうも、普段意識していないことが意識化されるので、実りの多い時間となります。

講評の中で「例話が多すぎて伝えたい事がみえませぬ。良い法話はお聖教の言葉だけでも、すつと入ってくるものです。」といったお言葉や、「初めて聞く人にとってはチンプンカンプンだろう」などご指摘下さいました。四州教区副団長であられる高尾隆徳先生のまとめの法話は、寄り道なし直球勝負の有り難いお取次ぎでした。

二日目の西原祐治師のお言葉で



すが、「話は体験談に限るといっても、それは自分の体験をどこまで深められるかも大事です。」とおっしゃいました。現代人に伝えていくには御法義を学ぶことはもちろんのこと、それを如何に行動に移していくか。布教使もお話しをすることだけでなく、様々なアクションを起こしていくことも必要なのだと受け取らせて頂きました。

気づきの多い研修会参加となりました。今後、山陰教区に青年布教使同志が増え、より切磋琢磨できますことを念願致します。

お知らせ

二〇一六(平成二十八)年
 本願寺山陰教堂 御正忌報恩講

日時：二〇一六(平成二十八)年
 一月二十一日(木)

午前：法要 午前一〇時～

午後：法要 午後一時三〇分～

※お斎をご用意しております。

講師：本多昌道師

(滋賀教区蒲生下組願證寺)

ご講師の本多先生は、習礼教修所で指導員をされており、得度習礼や教師教修でお世話になった方も多いためではないでしょうか。

また、この度の御正忌報恩講より山陰教堂の参拝記念スタンプを設置することになりました。

皆さまのお参りを心よりお待ちしております。

団体参拝をご希望される場合は、バスの駐車場を確保いたしますので、事前に教堂までご連絡ください。(電話〇八五二二一四七七)

ご縁まち交流 in 松江
 ～縁で広がる出会いの場～

昨年度に引き続き、山陰教区実践運動寺院活動支援部主催による寺院子弟交流企画「ご縁まち交流」を今年度も開催いたします。

二〇一六(平成二十八)年二月二十七日(土) 一三時～一六時、松江イングリッシュガーデンに交流の場を設け、新たな出逢いを求める男女を応援します。

参加対象は独身で仏教やお寺に関心がある男女、または寺院家族で

身の男女です。参加費はお茶とお菓子つきで一〇〇〇円、定員は男性女性ともに二〇名です。

お申し込み・お問い合わせは、山陰教区教務所寺院活動支援部事務局までお願いいたします。(募集締切：一月末日)

電話 〇八五二二一四七七
 FAX 〇八五二二一七八三五
 〒六九〇〇〇〇二

松江市大正町四四三二一

教務所の冬期休暇について

次の通り冬期休暇とさせていただきます。ご了承願います。

二〇一五(平成二十七)年十二月二十六日(土)～二〇一六(平成二十八)年一月六日(水)

手をあわせ 心あわせて しあわせに

報恩 感謝

ぶつだんの

内田 稔 造 商店

・木次 下熊谷 出雲
 ☎0854-42-0266 ☎0854-42-3711 ☎0853-21-3253



出雲組は一四ヶ寺からなる寺院で構成されています。その中で、数年前からご住職が不在のお寺が一ヶ寺あります。今年度その寺院のご住職が、ご往生されたため、近所のご住職が代務しておられます。

出雲組では平成二十六年度まで実践目標として、「日常の寺院活動、法座活動の充実、仏様のまなざしの中で人がつながり、ホッとできる空間・・・それが、法座です。」と定めて活動してきました。住職不在寺院でも、ともしび法座として年に一回の



報恩講をお勤めしてまいりました。そのほかの寺院でも、定例の法座で沢山の人がお参りできるような環境づくりに専念してきました。年に一回の報恩講では、出雲組門徒推進員で組内各寺院の報恩講にお参りしようと計画し、その活動を進めているところです。

前回三カ年計画を基盤として平成二十七年より具体的に活動できる目標を立てました。「日常の寺院活動・法座活動の充実」と掲げ、それまでの三カ年の計画の中で築き上げた物をさらに充実できるような新目標としました。門徒推進員では、各お寺の報恩講には組内門徒誰もがどの寺院の報恩講にもお参りできるように推進をしてきました。その結果は、誰もがお参りしやすい寺院づくりが、徐々にではありますが出来つつあるように思います。

さらに、組内ご住職並びに、各教化団体の方々と一丸となって努力していかなくてはならないと感じています。

各寺の年間法座日程等を組報に掲載し、すべての人に予定がわかるようにしました。そして平成二十七年度は、子供や若者のご縁づくりとして、



児童念仏奉仕団に参加いたしました。平成二十八年度に計画していることは、今までどうしてもお寺に足を運べない人たちが、お参りできるようにしていこうと思っています。

そのためには、各教化団体の方々の更なるご尽力が必要になるかどうかとあります。

現在、教化団体の無い寺院にも、新たな教化団体を作っていたきたいと思えます。そして、本堂が満堂にできれば、素晴らしいことだと思えます。

組内のご住職の皆様にご尽力をいただき門徒推進員、各教化団体の皆様にご協力いただきながら、誰もががお寺にお参りできるような環境を作りたと思います。

JTB 感動のそばに、いつも。

株式会社 **JTB中国四国 松江支店**

〒690-0003
 松江市朝日町498-6 松江駅前第一生命ビル2階
 TEL 0852-23-6720
 FAX 0852-23-7739
 営業時間：9:30～17:30 (土・日・祝日休業)

お仏壇・仏具は やっぱり京都・・・

夕に感謝 朝に礼拝

伝統工芸 京仏壇・京仏具

(株) 若林

www.wakabayashi.co.jp

京都本社 / 京都市下京区七条通新町東入
 ☎(075)371-3131 (代) 年中無休 〒600-8218
 フリーダイヤル ☎0120-37-8585 (各店共通)

東京店・築地店・札幌店・仙台店
 近江草津店・福岡(営)・新潟(営)
 E-mail info@wakabayashi.co.jp

SINCE 1830

Support 750 MADE IN KYOTO

前進座特別公演「如月の華」が、去る十月十五日大田市市民会館にて開演されました。

山陰教区内各ご寺院、ご門徒の多くの参加をいただき盛況に終わることができました。

七年前に「法然と親鸞」大田公演の事務局を担当させていただき、その後も前進座さんとのご縁が続いていた関係で、昨年の終わりに前進座の営業所長が自坊を訪ねて「如月の華」公演のお話をいただきました。正直、九条武子さまのこととは、仏教婦人会創設に尽力を注がれたこと、二十一代光尊門主(明如上人)の娘さんということくらいしか認識しておりませんでした。

しかし、前進座さんからの「この公演をすすめるきっかけは、四年前の東日本大震災の復興への希望となることも一つである」との熱い思いを、組長と仏教婦人会会長さんと共に聞いている中で、市内三組の組長さん、婦人会会長さんのご協力をいただければなんとかなるのではないかと、この思いで開催する運びとなりました。結果として唯一の山陰教区での開催となりました。

満席に近い申込のうち、ほとんどが仏教婦人会の組織力の賜物でした。改めて婦人会の結束力に感銘し

たことであります。

女性の地位向上、女子大学の設立などに尽力され、歌人としても大正三大女流歌人と謳われた武子さまは、大震災に遭遇し、自らも一命をとりとめ被災者支援に一身を捧げられた場面が印象に残りました。四十二歳で亡くなるまで、まるで自らの死に向うが如く献身的に行動を続ける武子さまは、まさに真宗者の生き方、つねに「他者への眼差し」をもって生き抜かれるお姿でした。それは門信徒の皆さまの胸に深く響いたことと思います。震災当時、修羅の巷と化していた東京近郊では、もう一つの惨劇が発生していました。「朝鮮人が放火した」「朝鮮人が武器をもって暴動」といった事実無根の流言蜚語に踊ら

帳 楽 憂

「如月の華 公演」

大田東組 正蔵坊
菅原 憲
(如月の華大田公演事務局)

された人々によって、次々に罪のない朝鮮人が殺戮されたり、謂れもない差別で貶められたといわれます。今回の公演ではその場面は、諸事情により奉公人六蔵に差し替えられたと聞いております。「如月の華」再演の折は是非とも表現をしていただきたいと願うことであります。公演後の俳優さんたちとの交流会で舞台裏のお話も聞きました。「公演中こんな笑いあり、涙ありの多い会場(大



田)はなかった。役者冥利に尽きる」と言われたことは、主催者としても大変感激したことであります。最後に、この公演開催に当たり大田市内ご寺院、仏教婦人会のみなさま、そして教区を通し各組のご寺院、仏教婦人会のみなさまのご協力に感謝申し上げます。

編集後記

伝灯奉告法要が、平成二十八年十月から平成二十九年五月まで勤まります。各組・各寺院に於いては団体参拝に向けての計画が進まれ、このご勝縁に参拝させていただき、楽しみを今から待ち遠しく感じております。(U)

協賛 瀬尾浩義商店

〒七三三-〇八五一
広島市西区田方三丁目
九〇九-一三〇一
TEL 〇八二-二七二-八四六一

伝灯奉告法要の団体参拝は我が社にお任せください!

近畿日本ツーリスト

株式会社近畿日本ツーリスト中国四国 山陰支店

TEL : 0852-22-4893 FAX : 0852-27-8359

〒690-0887 松江市殿町 517 アルファステイツ殿町 1F

観光庁長官登録旅行業第 1926 号 総合旅行業務取扱管理者 青山光弘
担当: 佐藤・平崎・門田